



日本語講習最終日に、フィリピン人実習生から担当講師にプレゼントされたフィリピン土産のイワシの缶詰め

あじけん通信

2024 MARCH
VOL.195

企画・編集 澁谷 健司 / 栗又 由利子

3月に入りました。日本の3月は卒業シーズン。しかし、来日ベースで実習生を随時受け入れている当校では、毎日のように実習生の皆さんとの出会いと別れが繰り返されています。入寮当初は右も左も分からず、実年齢よりも幼く見える実習生の皆さんですが、1ヶ月の集合研修を終える頃には日本語と日本の生活にすっかり慣れてきます。そして、先生やクラスメイトとの別れを惜しみながらも、一人前の生活者となり、それぞれの実習先に胸を張って旅立って行きます。

あじけんスコープ Vol.128

～ 実習生への入寮指導 ～

今月のあじけんスコープは、来日当日に行われる入寮指導の様子をご紹介します。当校の入寮指導では、基本的な部屋の使い方として、室内の電化製品、また、台所周りの使用方法について、実習生の母語で説明しています。来日直後の実習生の皆さんにとっては、居住環境が整っているだけでは不十分で、入寮のタイミングで時間を掛けて丁寧に使い方を指導して初めて「衣・食・住」の住の準備が整うことになります。



エアコンのリモコンの説明を受ける実習生



炊飯器の使い方にも説明が必要です

今月の実習生

今月は来日時に、スーツケースの傍らに怪しげな筒状ケースを固定して来日してきたベトナム人実習生 DINH VAN MANH (マイン) さんをご紹介します。大変興味深かったので話を聞いてみると、そのケースの中身はマインさんの大切な愛用品でした。



クラスメイトに自分のキューを紹介するマインさん



荷物に固定された筒状ケース

はじめまして、わたしはマインです。ベトナムからきました。わたしは22歳です。ゆみはトリヤードです。
このキューはベトナムからもってきました。わたしはトリヤードが好きです。日本でひまわりを、トリヤードをしたらです。



ショットのポーズを決めるマインさん

あじけん流日本語授業

～あじけん流 教室活動集より⑥～

今月のあじけん流日本語授業は、「あじけん流教室活動集」の実践編第6弾をお伝えします。この活動集は、講師研修会で考えた教室活動のアイデアを、一冊にまとめたものです。

今回は、形容詞を使った活動です。まず、それぞれの国に分かれてグループを作ります。グループで、その国の有名人を一人選びます。そして、その人物はどんな人で、どんな風貌なのか、形容詞を使って文章を作ります（写真①）。次に、1つのグループが作った文章をそのグループの人が一人一つ発表します（写真②）。他のグループはその発表を聞きながら、配られた紙にその人の絵を書いています。発表された文章だけでは、絵が描けないので、絵が描けるように質問をしていきます（「まゆげは太いですか?」「ひげはありますか?」など）（写真③④）。書き終わったら、その各グループの絵をホワイトボードに貼ります。貼られた絵の中から、発表グループが、発表した有名人に一番似ていると思う絵を選びます。そして、インターネットでその有名人の写真を探し、モニターに映します（写真⑤）。モニターに映った写真と、選ばれた絵が似ているか、クラスでジャッジします。選ばれたチームにはポイントが付きます。ポイントが一番多かったグループが勝ちとなります。

この活動では、学習した形容詞を使うことだけではなく、「ひげ」「えくぼ」「ピアス」など、実際の生活場面では使うが、テキストなどでは出てこない、人を表現するような語彙なども学習できます。また、自国の有名人を扱うことで、「伝えたい」という気持ちも高まり、日本語を使うモチベーションも上がります。

これからも実習生が楽しく日本語学習ができ、日本語を使うことが楽しくなるような授業を考えていこうと思います。

だれにしますか?かしゅ?



写真1: グループで相談します

このひとは ひげが あります。



写真2: 形容詞を使った文を発表します

かおは どんなかたち ですか?



写真3: クラスメートの質問に答えます

さんかく です。



写真4: 文を聞いて、絵を書きます



写真5: 実際の写真と比較します